

問題 1

学習や教育についての調査研究をしていると、「自分は何のために学ぶのか」についていろいろな考え方に出会う。教育心理学者もまた、さまざまな理論を出してきた。大きく分けると、「何らかの目的のための手段として人間は学ぶのだ」という「外発的」な考え方と、「人間は学ぶことそれ自体を楽しむ存在だ」という「内発的」な考え方である。

どちらの理論も、それなりに人間性のある面をついていて、もっともらしく思える。(①)、どちらかで押し通そうとすると、どこか無理があつて息苦しい。そこで、学ぶということは、「なりたい * 自己」と「なれる自己」を広げることだと考えてみるとどうだろう。「なりたい自己」というのは、社会的役割、趣味、思想などを含めた「あのようにありたい」と思う生き方である。「なれる自己」というのは、今の自分の延長として可能な * 選択肢である。

私たちは、学ぶことによって、それらの自己を広げて、その重なり合うところから何かを選んで「なっていく」。なぜ学校で学ぶのかといえば、日常生活だけでは、「なりたい自己」も「なれる自己」も狭いところで閉じられてしまうからである。学校の学習に限らず、自分が何か新しいことに * トライしてみることによって、「それを楽しめる自分」を発見できたり、自分の将来の可能性を広げたりできる。

昨年、ある中学校で * 総合学習の発表を見た。地域でさまざまな生き方をしている人の様子を見学し、ポスターにまとめ、教室や廊下を使って報告しあうものだった。その中で、私がたまたま聞いたのは、子どものために絵本を作り、読み聞かせをしている * ボランティアの方に * 取材した女子中学生だった。

彼女の丁寧な発表から、いかに多くのことを学びとり、その方に尊敬の念を抱いているかが見て取れた。しかし、私が驚いたのは、「君もあの人のようになってみたいと思うの」と聞いたときの答えである。「いえ、まだ、すぐには決めません。一人の方に取材してみて、これだけいい経験ができたので、他の人からもいろいろ聞いてみたいからです」

* 巣てしなく広がっていく (③) を見た思いがした。

* 自己: 自分

* 選択肢: 何かを決めるときに、選ぶことのできるいくつかの手段

* トライしてみる: 実際にやってみる

- * 総合学習:いくつかの科目で得た知識をまとめて、調査や発表をする授業
- * ボランティア:人や社会のために、お金をもらわずに働くこと。またはその人。
- * 取材:記事を書くために情報を得ること
- * 果てしなく:限りなく

問1 (①)に入る最も適当な言葉はどれか。

1. すると
2. だから
3. しかし
4. つまり

問2 筆者によると、学ぶとはどういうことか。

1. なりたい自分になるのに必要な知識を、日常生活の中で得ること
2. 学ぶ目的を理解し、学校生活や日常生活を楽しめるようにすること
3. 人生の目標を見つけるために、今の自分ができることに集中すること
4. 自分がしたいこととできることを増やして、将来の選択肢を多くすること

問3 「なりたい自己」「なれる自己」が広がるとはどういうことか。考えられる例として最も適当なものはどれか。

1. りっぱな仕事について、みんなに尊敬される人になる
2. 将来してみたいことや、できそうな職業の種類が増える
3. 行動範囲が広くなり、自分を的確に表現する力も伸びる
4. ボランティアの方に取材ができるていねいな態度が身につく

問3 筆者は学校をどのような場所だと考えているか

1. 新しいことにトライできる、唯一の場所
2. 日常生活と変わらない、狭く閉じられた場所
3. 決められたことしかできない、制限が多い場所
5. 日常生活ではできない、さまざまなことが経験できる場所

問4 筆者は女子中学生の発表を聞いて、彼女がボランティアの人に対してどのように思っていると感じたか。

1. このボランティアの人からは、あまり多くのことを学べなかった。
2. このボランティアの人は、りっぱな活動をしているすばらしい人だ。
3. このボランティアの人は自分の理想の人なので、ぜひそなりたい。
4. このボランティアの人は尊敬できるが、同じような活動はしたくない。

問5 ②「驚いた」とあるが、筆者はなぜ驚いたのか。最も適当なものはどれか。

1. 筆者は、この女子中学生が若いのに、取材したボランティア活動をしっかり理解していると感じたから。
2. 筆者は、この女子中学生が内容のよいといねいな取材をしたのに、自分の取材に満足していないと感じたから。
3. 筆者は、この女子中学生がすでにたくさんのことを学んだのに、もっと学びたいと思っていると感じたから。
4. 筆者は、この女子中学生がボランティアは大変な活動だとわかったのに、自分もやりたいと考えていると感じたから。

問6 (③)に入る最も適切な表現はどれか。

1. 尊敬の念
2. 学びの姿
3. ていねいな発表
4. ボランティア活動